

都市再生整備計画 事後評価シート
甚目寺駅周辺地区

平成23年3月

愛知県あま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	あま市		地区名	基目寺駅周辺地区			面積	37.1 ha				
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,875 百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路((都)五条高校線および駅前広場、西条清須線、基目寺森線、基目寺56号線(駅アクセス歩道)、基目寺57号線(駅アクセス歩道)、基目寺58号線(駅アクセス歩道)、基目寺27号線、基目寺24号線、駅アクセス歩道)、地域生活基盤施設(情報板、地域防災施設)、高質空間形成施設(緑化施設等)											
			提案事業	地域創造支援事業(基目寺小学校耐震補強事業)、まちづくり活動推進事業(ワークショップ(駅前広場整備)、ワークショップ(基目寺観光交流センターの活用方法)、ワークショップ(観光地形成))											
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路(基目寺21号線)、地域生活基盤施設(自転車駐車場)、既存建造物活用事業(基目寺観光交流センター)	削除/追加の理由 道路(基目寺21号線): 公安協議を受けた設計見直しにより、削除。 地域生活基盤施設(自転車駐車場): 自転車駐車場の整備は道路事業で実施するため削除。 既存建造物活用事業(基目寺観光交流センター): 管理運営について再検討したところ、人件費等コストが厳しい財政状況を圧迫することが想定され、取りやめ。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 道路(基目寺21号線)の削除により、まちづくりの目標達成に向けマイナスの影響があるが、目標も指標も据え置く。また、地域生活基盤施設(自転車駐車場)は、道路(自転車駐車場)として整備し、既存建造物活用事業(基目寺観光交流センター)は代替として地域生活基盤施設(広場)を追加するため、目標、指標への影響はない。							
			提案事業	地域創造支援事業(駅北側改札口整備事業)	他事業で実施することになったため、提案事業から関連事業へ移行。			実施内容に変更がなく、目標、指標への影響はない。							
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(五条高校線、自転車駐車場)、地域生活基盤施設(広場)	道路(五条高校線): 安全性向上のため五条高校線×町道森上置津線交差点北側取り付けを新たに追加。 道路(自転車駐車場): 道路付帯物として整備するため、地域生活基盤施設から変更。 地域生活基盤施設(広場): 基目寺観光交流センターの代替として追加。			道路(五条高校線)により、まちづくりの目標達成に向けプラスの影響があるが、目標も指標も据え置く。道路(自転車駐車場)は地域生活基盤施設(自転車駐車場)からの変更であり、地域生活基盤施設(広場)は、削除した既存建造物活用事業(基目寺観光交流センター)の代替となるため、目標、指標への影響はない。							
			提案事業	地域創造支援事業(駅前周辺空間整備促進事業)、事業活用調査(事後評価分析業務)	地域創造支援事業(駅前周辺空間整備促進事業): 駅前空間の利便性向上のため、事業を追加。 事業活用調査(事後評価分析業務): 事後評価に必要な資料作成を追加。			地域創造支援事業(駅前周辺空間整備促進事業)により、まちづくりの目標達成に向けプラスの影響があるが、目標も指標も据え置く。また、事業活用調査(事後評価分析業務)は事後評価に係わるものであるため、目標、指標への影響はない。							
	交付期間の変更		当初	—	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし							
			変更	—											
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		指標1	駅前空間の利便性の満足度	ポイント	1.8	H17	3.5	H22	モニタリング	評価値	3.3	△	あり	●	自転車駐車場の整備により、自転車の利用が便利になったり、駅前が歩きやすくなった。また、駅前広場等の整備により、駅利用がより便利になることが期待される。これらにより、駅前空間の利便性が向上したと考えられる。
指標2		基目寺観音参拝者数	人	約60,000	H15	約60,000	H22			60,000	○	あり	●	基目寺駅周辺地区の道路整備等により、基目寺観音を訪れるバス等がアクセスしやすくなり、企画やイベント等の地域資源を活用した取り組みが開けやすくなったと考えられる。	平成24年6月
指標3		市民の防災満足度	ポイント	2.3	H17	3.5	H22			3.2	△	あり	●	指定避難所である基目寺小学校の耐震補強をはじめとする整備により、地域の防災性が向上し、防災に対する住民の安心感が増加したと考えられる。	平成23年10月
指標4		放置自転車数	台	約800	H17	0	H22			0	○	あり	●	従前の放置自転車数を考慮し駅の南北に約1,100台取用可能な自転車駐車場の整備や、整備に伴う放置自転車禁止区域の設定等により、放置自転車数が減少し、駅前空間の安全性・利便性・快適性が向上したものと考えられる。	平成23年9月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	その他の数値指標1	基目寺観音への行きやすさに対する市民の評価	ポイント	—	—			モニタリング	評価値	3.4		あり	●	基目寺駅及び基目寺観音周辺の道路や情報案内板の整備により、歩いて基目寺観音に行きやすくなったことが、地域資源に親しむ機会につながったと考えられる。	平成23年10月
4) 定性的な効果発現状況	アンケートの自由記述に、「基目寺駅が整備されとても利用しやすくなった」との記述がある等、駅利用に対する市民の良好な評価を得ている。														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング	・本事業に関連する部局間で、連絡調整会議を定期的開催し、事業進捗の確認、事業内容の調整等を行い、効率的な事業推進を図った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	今後も同様の事業を行う場合には、効率的な事業推進を行えるよう、必要に応じて、関連する部局間で連絡調整会議を開催する。						
	住民参加プロセス	・駅前広場整備に関する住民参加によるワークショップの実施。(参加者17名) ・基目寺観光交流センターの活用方法に関する住民参加によるワークショップの実施。(参加者19名) ・観光地形成に関する住民参加によるワークショップの実施。(参加者5名)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地域住民、地元団体等による駅前広場、じもくじ夢広場の管理、イベントの開催等が行われるよう、今後も必要に応じて意見交換会等を実施する。						
	持続的なまちづくり体制の構築	・施設の維持管理については、駅前広場や駅アクセス歩道の清掃作業等を商店街・自治会等で行えるような体制の構築。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	持続的なまちづくり体制の構築に向けて、今後も必要に応じて支援を行う。						

様式2-2 地区の概要

甚目寺駅周辺地区(愛知県あま市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 ひと・文化・歴史が出合う、甚目寺の新たな顔づくり ○地域の顔となる、利便性の高い広場空間の形成を目指す ○歴史・景観資源、文化・活力資源、人的資源を十分に活用した、魅力あふれるまちを目指す ○安心して訪れる・住むことができる、安全なまちを目指す	駅前空間の利便性の満足度	単位:ポイント	1.8 H17	3.5 H22	3.3 H22
	甚目寺観音参拝者数	単位:人	約60,000 H15	約60,000 H22	60,000 H22
	市民の防災満足度	単位:ポイント	2.3 H17	3.5 H22	3.2 H22
	放置自転車数	単位:台	約800 H17	0 H22	0 H22

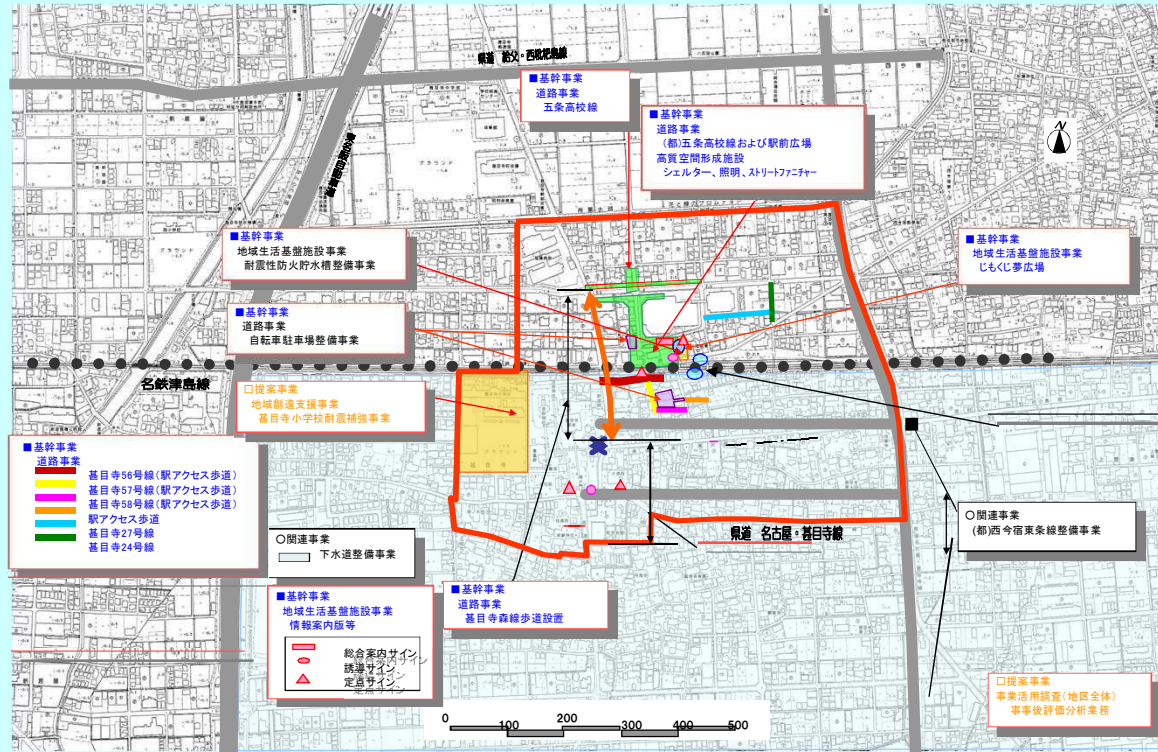
甚目寺森線、西条清須線の整備



駅アクセス歩道の整備



自転車駐車場の整備



五条高校線および駅前広場の整備



じもくじ夢広場の整備



甚目寺小学校耐震補強



まちの課題の変化

- 駅前広場や自転車駐車場等の整備により、駅周辺の利便性、安全性が向上し、景観も向上する。しかし、鉄道から、その他の交通手段への乗り換え等が不便である。また、バリアフリー対応が不足している箇所が存在するほか、近隣地区から甚目寺駅周辺地区へのアクセス環境が不十分である。
- 甚目寺駅や甚目寺観音周辺での道路、歩道整備や情報案内板整備により、甚目寺観音をはじめとする地域資源へ行きやすくなる。また、じもくじ夢広場の整備により、地域の情報発信が行いやすくなる。しかし、市民等による地域資源の価値を高める取り組みが不足しており、ソフト面からの地域資源の活用が不十分である。
- 耐震性防火貯水槽の整備や甚目寺小学校の耐震補強等により、指定避難所となる施設の整備が進展し、地域の防災性能が向上する。しかし、駅南側地区において、防災機能を高める広場が不十分である。
- 駅前広場等の整備によって、交通の流れが変わるために、交通安全上問題箇所が発生する可能性がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 広場・道路等の利用マナーの向上を呼びかけるほか、市民による広場等の管理が実施されるよう支援する。また、緑のある空間が広がるよう検討する。
- 整備された防災施設等を活用した防災訓練実施等により、自主防災組織の育成等ソフト面の充実に努める。
- 整備された広場空間を活用し、鉄道からその他の交通手段への乗り換え等が便利になるよう検討する。
- 地区および地区周辺でバリアフリーの歩行者環境が広がるよう検討する。
- 近隣地区から甚目寺駅周辺地区へアクセスする道路の改善に努める。
- 市民による、甚目寺観音をはじめとする地域資源を活用した地域イベント等の開催を促進する。
- 駅南側地区において防災機能を高める広場を確保できるよう検討する。
- 駅周辺地区の交通安全対策について、地域住民、公安委員会と協議しながら、必要な安全対策を図る。